



2015年12月14日

欧州マクロ経済の不均衡:雇用問題に新たな注目**公益財団法人 国際通貨研究所
経済調査部 上席研究員 山口綾子**

欧州連合（EU）では経済統合を安定的に運営するために、メンバー各国のマクロ経済不均衡を把握しその是正を求める「マクロ経済不均衡是正手続き（MIP）」に基づく調査が毎年行われている。11月にその第5次レポートが公表された。MIPでは経常収支や政府債務など主要な11項目からなるスコアボードで不均衡を把握してきたが、今回その項目に新たに雇用関係の3指標、労働参加率、長期失業率、若年失業率が加えられた。

従来の11項目の中にも雇用関係の指標として失業率が含まれ、閾値10%を超える数値が不均衡の目安とされていた。今回加えられた3指標は、2013年からMIPの補助的指標として閾値を示すことなく考慮されてきたが、今回はじめて主要な指標（Headline indicators）として閾値とともに公表された。この3指標ともその水準ではなく、過去3年間の変化を対象とすることで、情勢の変化をよりよく把握できると考えられている。

欧州委員会ではこれらの指標をスコアボードに組み入れることで、雇用・社会情勢の変化をよりの確に把握し、失業問題が社会不安や潜在成長率の低下につながることを防ぐべく、各国に適切な措置を勧告していく。過去1年超にわたって、欧州委員会内部や欧州議会でも、ヨーロッパ・セメスターによる政策協調のなかで雇用・社会関連指標がもっと重視されるべきとの議論がなされてきたことが背景にある。

おりしも欧州各国では選挙日程が目白押しで、難民危機・テロの脅威が騒がれるなか、反欧州・反EU勢力の台頭を懸念する声がある。ギリシャの例は極端としても、ポルトガルでは総選挙でかろうじて勝利した与党連合の内閣が、政策案否決で総辞職、大統領が野党第一党の党首を首相に指名するまで政治的空白が生じた。スペインではカタルーニャ州選挙で独立派が過半数を制し、また12月20日の総選挙での反EU派への支持率が注目されている。フランス地方選挙でも反移民を主張する極右政党の台頭が著しい。

失業問題、特に若年層の失業は与党に対する反発となりやすく、移民排斥などにつながりやすい。こうしたなかで、欧州委員会の各国の経済政策に対する勧告も、これまでの財政再建一辺倒から、成長をも意識した政策へ軸足を変化させつつあるようにみえる。今回の措置もこうした変化を示唆したものとみることができよう。

(参考図表)

MIP (Macroeconomic Imbalance Procedure) スコアボード2014

	対外不均衡および競争力					国内不均衡						雇用指標(新たに加えられたもの)		
	経常収支 (GDP比、3 年平均)	ネット対外 投資ポジ ション (GDP比)	実質実効相 場(3年間の 変化率)	輸出市場 シェア(5年 間の変化率)	ユニット・ レバー・ コスト (3年 間の変化率)	住宅価格変 化率 (消費 デフレーター で実質化)	民間部門の クレジット (フロー: GDP比)	民間部門の 債務(GDP 比)	一般政府債 務(GDP比)	失業率 (3年 平均)	金融部門の 負債伸び 率%	労働参加率 (3年間の変 化%ポイント)	長期失業率 (3年間の変 化%ポイント)	若年失業率 (3年間の変 化%ポイント)
閾値*	-4/+6%	-35%	±5% ±11%	-6%	+9% +12%	+6%	14%	133%	60%	10%	16.5%	-0.2%	0.5%	0.2%
○ ベルギー	-0.1	57.2	-0.5	-10.7	5.6	-1.1	1.0	181.4	106.7	8.2	4.9	1.0	0.8	4.5
ブルガリア	0.9	-73.4	-2.6	6.7	12.5	1.5	-0.3	124.3	27.0	12.2	7.2	3.1	0.6	-1.2
チェコ	-0.5	-35.6	-10.0	-5.0	3.8	1.8	1.8	72.7	42.7	6.7	4.4	3.0	0.0	-2.2
デンマーク	6.9	47.0	-1.2	-17.3	5.1	3.1	1.7	222.8	45.1	7.0	6.6	-1.2	-0.1	-1.6
○ ドイツ	6.9	42.3	-0.3	-8.3	7.6	1.5	1.1	100.4	74.9	5.2	4.2	0.4	-0.6	-0.8
○ エストニア	-0.5	-43.6	4.7	24.5	13.0	12.8	6.4	116.1	10.4	8.7	12.2	0.5	-3.8	-7.4
○ アイルランド	1.8	-106.7	-3.5	-6.1	-2.2	11.1	13.7	263.3	107.5	13.0	16.0	0.6	-2.0	-5.2
○ ギリシャ	-2.6	-124.1	-5.6	-17.5	-11.6	-4.9	-2.7	130.5	178.6	26.2	-7.6	0.1	10.7	7.7
○ スペイン	0.7	-94.1	-1.0	-11.5	-4.1	0.1	-7.1	165.8	99.3	25.1	-1.9	0.3	4.0	7.0
○ フランス	-1.0	-19.5	-1.2	-13.1	4.8	-1.6	3.3	143.2	95.6	10.1	5.4	1.3	0.6	1.5
クロアチア	0.5	-88.6	-0.9	-18.0	-5.9	-2.0	0.3	120.6	85.1	16.9	0.9	2.0	1.7	8.8
○ イタリア	0.8	-27.9	0.2	-14.0	3.6	-4.6	-0.9	119.3	132.3	11.8	-0.7	1.8	3.5	13.5
○ キプロス	-4.9	-139.8	-1.4	-26.7	-7.7	0.3	-8.5	348.3	108.2	14.6	0.7	0.8	6.1	13.6
○ ラトビア	-2.5	-60.9	0.4	9.9	12.9	5.1	-11.9	96.4	40.6	12.6	10.4	1.8	-4.1	-11.4
○ リトアニア	1.3	-46.4	1.4	35.3	8.3	6.3	-1.2	52.5	40.7	12.0	16.3	2.3	-3.2	-13.3
○ ルクセンブルク	5.8	36.0	0.5	11.2	7.6	3.7	0.5	342.2	23.0	5.7	21.5	2.9	0.3	5.9
ハンガリー	2.7	-73.8	-7.0	-14.9	6.7	3.1	-0.5	91.3	76.2	9.6	8.5	4.6	-1.5	-5.6
○ マルタ	2.6	39.5	0.0	-18.2	7.0	2.6	7.8	146.4	68.3	6.2	5.8	4.5	-0.4	-1.5
○ オランダ	10.9	60.8	0.8	-11.0	5.4	-0.5	-1.6	228.9	68.2	6.8	8.2	0.9	1.3	2.7
○ オーストリア	1.8	2.2	1.9	-15.7	7.8	1.4	0.2	127.1	84.2	5.3	-1.5	0.8	0.3	1.4
ポーランド	-2.3	-68.3	-1.3	4.8	2.5	1.1	4.7	77.9	50.4	9.8	0.6	2.2	0.2	-1.9
○ ポルトガル	0.0	-113.3	-1.8	-4.7	-2.3	3.6	-8.7	189.6	130.2	15.4	-6.1	-0.4	2.2	4.5
ルーマニア	-2.1	-57.2	-1.1	21.5	2.3	-3.6	-2.4	62.2	39.9	6.9	1.1	1.6	-0.1	0.1
○ スロベニア	5.1	-43.7	1.2	-11.8	-0.2	-6.6	-4.6	100.1	80.8	9.6	-0.4	0.6	1.7	4.5
○ スロバキア	1.0	-69.4	1.3	3.2	2.2	1.5	3.9	76.2	53.5	13.8	7.0	1.6	0.0	-4.0
○ フィンランド	-1.5	-0.7	2.7	-24.0	8.0	-1.9	0.4	150.0	59.3	8.2	8.7	0.5	0.2	0.4
スウェーデン	6.5	-6.5	-3.7	-9.8	7.1	8.6	6.5	194.4	44.9	8.0	13.4	1.6	0.0	0.1
英国	-4.3	-25.3	10.2	-8.7	1.9	8.3	3.4	157.7	88.2	7.2	4.4	1.2	-0.5	-4.4

(注) * 閾値の上段: ユーロ圏、下段: 非ユーロ圏。網掛けは閾値を超えるもの。○はユーロ圏(リトアニアは2015年1月より)。

(資料) 欧州委員会資料より作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。